

「大学生等による『共感の輪』拡大事業（首都圏）」業務委託公募型プロポーザルへの質問について（回答）

質問事項	回答
仕様書「3 業務内容」において、視察研修の参加者数は学生 13 名程度とありますが、提案・積算にあたって学生や運営スタッフ、県担当者等の同行者も含めて算出するとの理解でよいでしょうか？その場合、貴県の同行者は何人の想定でしょうか？	県担当者については、施設入館料等の必要経費は計上し、食事代・宿泊費は除外して算出してください。県の同行者は1～2名を想定しております。
福島県在住の大学生も、東京都発着でしょうか？それとも福島県在住の大学生は福島県現地で合流でよいでしょうか？	福島県内の指定集合場所での合流を想定しております。
参加学生の移動手配について、福島県在住の大学生 3 名分の移動手配および旅費についても本業務の対象として見込むべきかご教示いただきたい。その場合の発着点はどこを想定していますか？	福島県在住の大学生については、福島県内の主要駅等を指定集合場所として設定し、当該地点から視察先までの移動手配及び旅費を本業務に含めてください。なお、居住地から指定集合場所までの移動に係る、費用および手配は学生の自己負担となります。
福島県在住の大学生も 1 泊 2 日とする必要がありますか？	参加者同士の交流の質を最大限高めるために最も効果的な研修プランを提案願います。
仕様書「3 業務内容」（1）のウ ・「オリエンテーション等の会場確保」は受託者、「講師手配や進行」は県が行うとされています。会場使用料および機材費（プロジェクター・マイク等）は受託者負担（委託料内）、講師への謝礼や旅費等は県側の直接負担という整理でよろしいでしょうか。 ・SNS 等の発信方法に関する指導・レクチャー自体は、受託者側で講師や資料等を準備して実施する認識でよろしいでしょうか。それとも、	・お見込みのとおりです。 ・本業務においては、受託者が制作する動画による情報発信とは別に、参加学生による SNS 等での情報発信を予定していることから、オリエンテーションの際、受託者において、参加学生に対し、発信時の注意点や効果的な発信方法について指導・レクチャーを実施いただきます。

令和8年8月21日

福島県 企画調整部 風評・風化戦略室

貴県が手配する講師が実施し、受託者はその補佐等を行うのでしょうか。	
動画撮影について。撮影者は学生ではなく、受託者という理解でよいでしょうか？それとも、学生が自分で動画撮影し、自分で投稿するというのでしょうか？	受託者を想定しております。
本編動画（1本）とは何分ぐらいの動画のイメージでしょうか？そして、ショート動画（3～5本）は何分（何秒）ぐらいのイメージでしょうか？	若年層に「ふくしまの今と魅力」が正確かつ効果的に伝わるような構成を提案願います。
仕様書「3 業務内容」（3）のアの動画広告の運用について、この動画は、（2）イの動画とは別に制作する動画でしょうか？また、この動画広告の動画に、学生が撮影した動画を流用することは可能でしょうか？	（3）アの動画広告については、（2）イで制作した動画を使用することを想定しています。また、学生が撮影した動画や画像については、学生自身がSNS等で発信する際に活用することを前提としているため、現時点で広告用動画への流用は想定しておりません。
視察研修の実施日程について、貴県との調整の上で最終決定される時期の目安をご教示いただきたい。	時期の目安はございません。
オリエンテーション会場において必要となる備品についてご教示いただきたい。併せて、マイク、プロジェクター、スクリーン、演台、PC等の使用を想定している場合は、その仕様や必要数量についてもご教示いただきたい。	マイク、プロジェクター、スクリーンを使用予定です。
県産品や郷土料理等の提供については、朝食および夕食を必須提案とし、昼食については任意提案との理解でよいでしょうか？	任意提案の意図が定かではありませんが、仕様書記載のとおりです。
同行するファシリテーターへの食事提供は経費として計上することは可能でしょうか？	可能です。
参加学生が視察研修中に事情により離団（途中帰宅）を希望した場合の	企画提案に直接関わる内容ではないため、回答は控えさせていた

方針についてご教示いただきたい。なお、その際に発生する交通費等の負担区分についても併せてご教示いただきたい。	できます。
仕様書「3 業務内容」(1) ・学生13名程度を募集・選定する際、募集広報の範囲や手法(大学へのアプローチ、SNS 広告等)に指定はありますか。特に福島県在住の学生については、県側からの紹介や推薦ルートがあるのかご教示いただきたい。 ・「広く募集し、」とありますが、SNS や広告を活用し、募集自体を広く周知することも目的としていますでしょうか？それとも連携先の首都圏大学および同じく連携先の福島大学から参加者を募る形でもよろしいでしょうか？	募集・選定方法については、本業務の目的を最も効果的に達成できる手法を提案願います。
仕様書9(3) ・制作した動画は、貴県が二次利用することを想定していますか。その場合の使用期間についてご教示いただきたい。 ・「成果物の所有権や著作権は原則として福島県に帰属する」とされています。参加学生や視察先関係者から取得する肖像権承諾書について、県および受託事業者の公式 Web サイト・SNS ・後の事業告知等での無期限掲載・二次利用を含めた承諾範囲とする方針でよろしいでしょうか。	・二次利用する場合があります。現在、使用期間については設定しておりません。 ・県において無期限掲載及び二次利用を行う場合がありますので、動画の制作に当たり、必要な権利上の処理を実施いただきます。なお、現時点で、受託事業者による無期限掲載及び二次利用は想定しておりません。
対象として「首都圏の大学生等10名程度」「福島県在住の大学生3名程度」に加え、「福島県の復興や風評・風化問題に関する学びに関心があり、動画への出演やSNS 等での情報発信に協力可能な学生」と記載されていますが、3 つ目の条件は1 および2 の参加学生(計13名程	お見込みのとおり、全員に求める「応募要件・属性」となります。受入れ想定人数は合計13名程度です。

令和8年8月21日

福島県 企画調整部 風評・風化戦略室

度)全員に求める「応募要件・属性」という理解でよろしいでしょうか。それとも、13名とは別に独立した募集枠や追加の人数を想定されていますでしょうか。ツアー手配の積算基準に関わりますため、本事業における全体の受入れ想定人数(合計13名程度で積算してよいか)と併せてご教示ください。	
目的に「本県の今を広く正確に知ってもらう」とあるが、県として認識している課題感としては、以下に記載してあるような「風化・風評被害に対する取り組みと現状(どれほど復興しどれほど進化したか、など)」かそれとも「復興をとげた魅力ある福島の現状(観光地など)」のどちらが趣旨に合っていますでしょうか？ https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015f/senryaku-sakutei.html	風評払拭・風化防止に向けた本県の課題や本業務の目的を正確に把握し、課題解決に向けた最適な提案となっているかを審査しますので、本県の現状や課題、本業務の目的について分析の上、提案に反映させてください。
自治体が関係するツアーの「旅行業」の取り扱いでは、ツアーの実施を旅行業者でない企業に委託する場合、自治体を実質的に企画運営に関与し、かつ営利性、事業性がないと総合的に判断される場合は旅行業法の適用を受けない、という認識ですが、本事業の委託先は「旅行業登録事業者」を想定されていますでしょうか？	本事業の委託先は「旅行業登録事業者」を想定しています。
仕様書3(2)イにおいて「ショート動画(3~5本程度)はSNSでの視聴に適した縦型で制作」とありますが、広告配信および成果報告の対象として県が想定・指定する主要プラットフォーム(YouTube Shorts、Instagram Reels、TikTok等)はございますか。	最適なプラットフォームを提案願います。